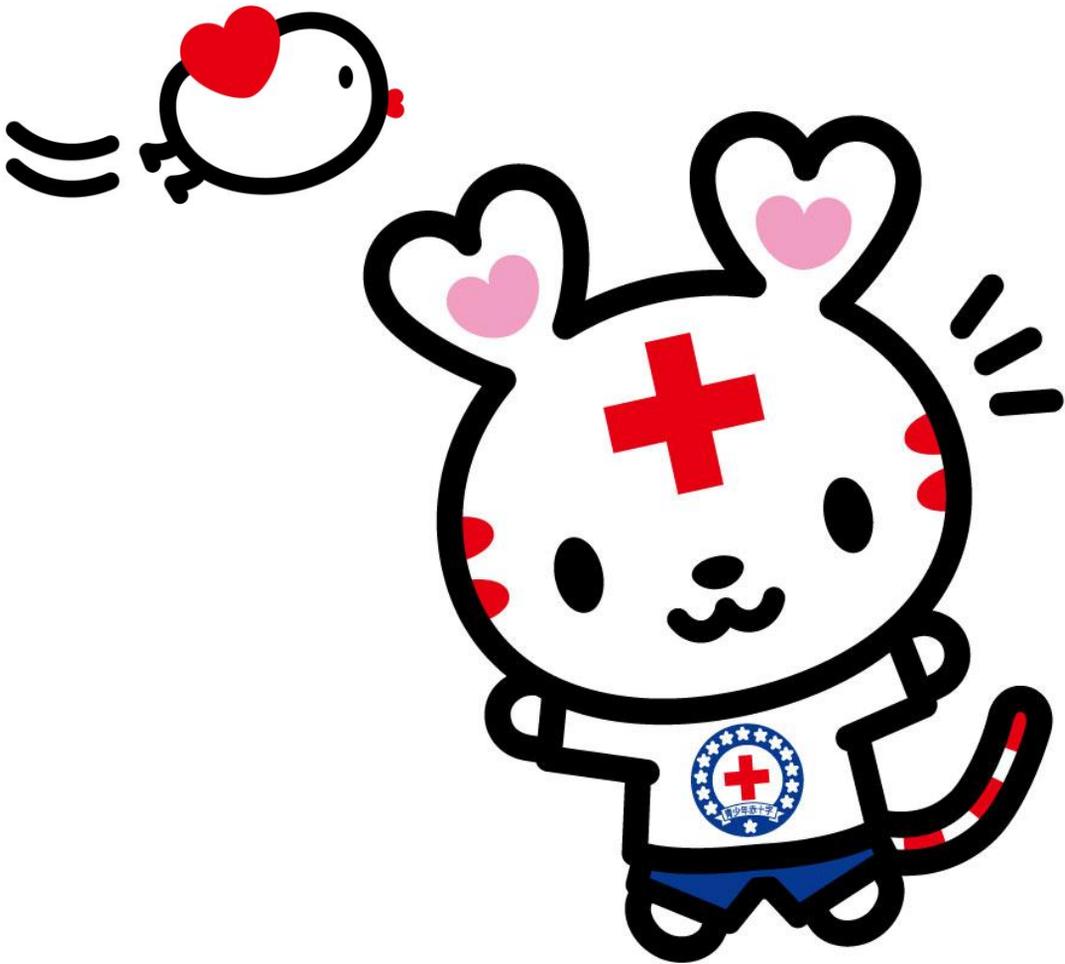




青少年赤十字ってなあに？  
～授業にいかしてみませんか～



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

長野県支部

# 青少年赤十字とは



## 青少年赤十字の目的

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的として、様々な活動を学校教育の中で展開しています。

## 目的を達成するために

### 健康・安全

自分はもちろん、他人の命と健康を大切にする

### 奉仕

地域、社会のために奉仕し、社会や世界の一員としての責任と自覚を育てる

### 国際理解・親善

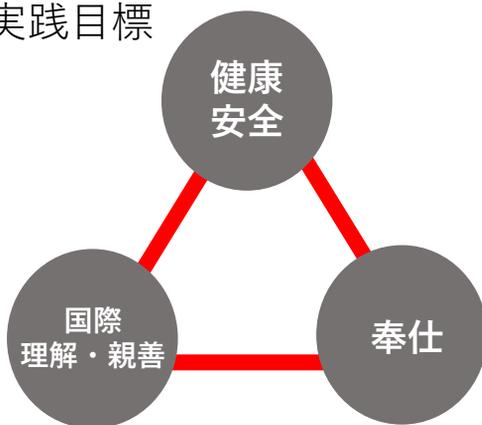
異なる文化・習慣を超えて世界の人々と仲良くする

実践目標には、人間が生きていくために、そして平和構築のために最低限必要なものが組み込まれています。

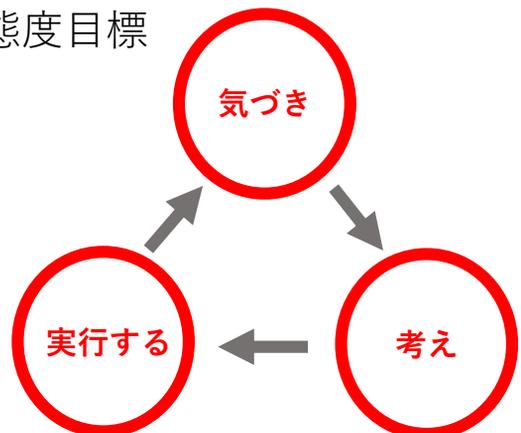
## 児童・生徒が自主的で、自立した生活態度を養うために

「気づき」「考え」「実行する」

実践目標



態度目標



これらの実践目標・態度目標をもとに活動し、本来、人間誰しもがもっている「やさしさ」や「思いやり」を引き出し、主体的に発揮できる子どもを育てることが、青少年赤十字の役割です。

## 青少年赤十字の役割

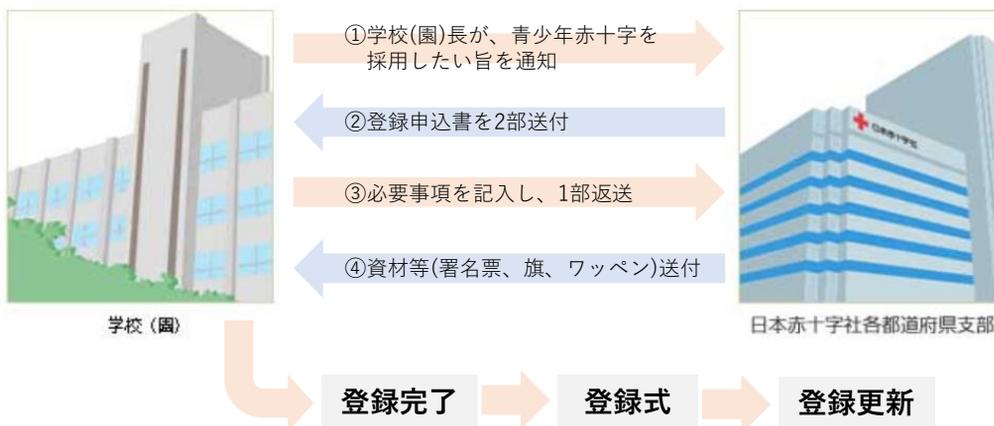
誰の心の中にもある「やさしさ」や「思いりの心」を育てること

## 青少年赤十字の特徴

- 1 青少年赤十字は、小・中・高等学校、特別支援学校等の中に組織されており、学校の先生が指導者となります。
- 2 何を実践するかは学校の自由裁量です。指示や通達によって学校内の組織や行事を拘束することはありません。  
日本赤十字社から、資料送付や専門知識を持った人材を派遣することができます。
- 3 青少年赤十字は世界的な組織です。  
国内、国外に多くの仲間がいます。
- 4 参加するためには、加盟登録が必要です。  
登録費用や人材派遣費は、県民の皆さまからお寄せいただく活動資金(活動資金・寄附金)で行っていますので、かかりません。  
教材を使用する場合のみ、実費がかかります。

## 加盟方法

加盟登録は、学校単位・学年単位・クラス単位・クラブ単位など、学校の実情に合わせて行います。



- 1 定期刊行物や青少年赤十字に関するポスター等を郵送します。
- 2 希望に応じて、青少年赤十字旗、誓いのことば、アンリー・デュナンの肖像画、メンバー署名簿、ワッペン、バッジを差し上げます。
- 3 各種研修会の案内、義援金・救援金に関する情報提供をします。
- 4 資材を無償で提供します。
- 5 希望に応じて、青少年赤十字活動助成金を交付します。

# 青少年赤十字活動プログラム

日本赤十字社長野県支部では、赤十字活動についてさまざまなプログラムを提供しています。

道徳、保健体育、総合的な学習の時間や募金活動の事前学習として、授業にいかしてみませんか。

## 講師の派遣

---

専門知識をもった人材が学校を訪問してプログラムに沿った授業を行います。

## 内 容

---

健康・安全、奉仕、国際理解・親善や教師のための基礎講座など、映像や資料を取り入れた授業等を提案します。

## 費 用

---

人材派遣費用は、かかりません。

教材を使用する場合のみ、ご負担をお願いしています。

(青少年赤十字活動助成金をお役立てください。)

## 申込方法

---

実施希望日の2ヶ月前までに、日本赤十字社長野県支部へお問い合わせください。

日本赤十字社長野県支部 組織振興課

電話 026-226-2073



## 健康・安全

いのちと健康を大切にする

人間の生命はもっとも大事なものです。その生命を守るために、自分の命と健康を大切にするとともに、みんなの健康を守り、人間尊重の精神を養うことを目指します。



### 防災教育プログラム

日本列島は、自然豊かな美しい国土ですが、多くの自然災害に見舞われる厳しい環境におかれています。

将来起こりうる自然災害に足して、未来を担う子どもたちは、自然災害の正しい知識をもち、自ら考え、判断し、危険から身を守る行動をとらなければなりません。

#### 主なプログラム

- さまざまな自然災害を知ろう
- 自然災害から身を守ろう
- 自然災害に備えよう
- 屋内での安全対策  
家具や家電などの転倒・落下・移動防止策を考える。
- 避難所体験ゲーム  
避難所運営の一員として、避難者の受入から部屋割り、生活空間の確保、ペット対応などを模擬体験する。
- ドローイング・チャレンジ  
ゲームを通じて、災害時のコミュニケーション能力の大切さに気づき、考える。
- 炊き出し訓練  
身近な材料を使い、包装食袋等を活用した災害時の非常食作りを学ぶ。

#### 救急法

- 心肺蘇生法
- AEDを用いた除細動
- 気道異物除去
- 包帯法
- 着衣泳法

※児童・生徒の人数に合わせて、指導員が学校に出向いて、授業をすることも可能です。一人ひとりが訓練人形やAED、三角巾を実際に使って体験することができます。



## 奉仕

人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する

私たちはたった一人で生きているのではなく、社会の一員として生きています。自分が今、他者のために何ができるかを考え、できることから実行していきます。



### 障害者・高齢者の理解

- ・車いすの生活
- ・おじいちゃん、おばあちゃんの生活
- ・自分にできる支援
- ・疑似体験しよう

### 献血の理解

- ・献血ってなんだろう
- ・血液のはたらきと役割
- ・血液型ってなんだろう
- ・献血をしよう



### 募金活動

- ・国内のともだちのために
- ・世界のともだちのために
- ・自分にできることからはじめよう

## 国際理解・親善

広く世界の青少年を知り、なかよくたすけあう精神を養う

私たちは、いつも世界の国々とのつながりの中で生活しています。外国の人々やその国のことについて正しく理解し、交流を深めることは大変重要なことです。それは自分自身を知ることにもつながります。このような積み重ねが、世界の平和の実現を目指していくことにつながります。



### トピックアルバムをつくろう

- ・自分たちの地域や日本の文化を紹介しよう
- ・海外の国を理解しよう
- ・海外の国のメンバーと交流しよう

### 国際人道法学習プログラム

- ・世界では何が起きている？
- ・誰もが人間らしく生きるために
- ・人道的な行動を考える
- ・人間の命と尊厳を守るためのルール



### 教師のための基礎講座等

---

- 1 赤十字の歴史（長野県歴史資料館の見学）
- 2 国際赤十字の組織
- 3 赤十字のしくみと活動
- 4 日本赤十字社
- 5 長野県青少年赤十字

# リーダーシップ・トレーニングセンター

「気づき・考え・実行する」児童・生徒の育成

県内の各学校の活動の中核となる「児童・生徒のリーダー養成」を目的としたプログラムです。期間中は、「気づき、考え、実行する」集団生活の活動体験を通して、自主性と指導性を養い、学校や地域社会に役立つ青少年の育成を目指します。



## 救急法（一次救命処置）

心肺蘇生法を実際に体験し、救命率向上のためのAEDの役割を学びます。

## 防災学習（炊き出し訓練）

地元の地域赤十字奉仕団と協働して、特殊な袋「ハイゼックス」による災害用非常食づくりの体験をします。



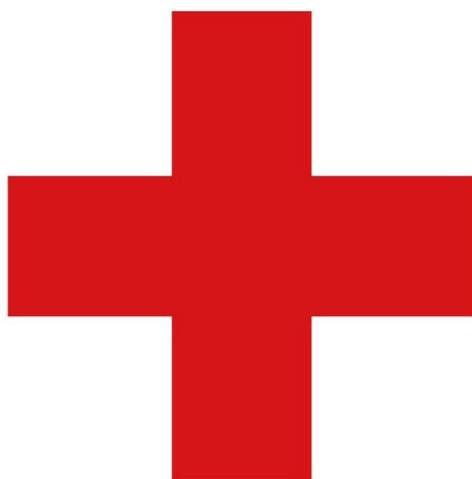
## 防災学習（炊き出し訓練）

震度7の地震が発生し、水道も電気も止まっているという設定の下、ホームルームを家族として、与えられたスペースと毛布、段ボール等を使って避難所を設営します。

## フィールドワーク（野外学習）

施設周辺に設置された各関門を通過してゴールへと進む野外活動。期間中に学習した知識、技術、築き上げた団結力と一人ひとり養ったリーダーシップを発揮させて、難関を切り抜けていきます。





# 日本赤十字社

Japanese Red Cross Society

お問い合わせ先

日本赤十字社長野県支部

〒380-0836

長野市南県町1074

電話 026-226-2073

FAX 026-223-4181

E-mail [info@nagano.jrc.or.jp](mailto:info@nagano.jrc.or.jp)